



大村市立福重小学校 学校だより

あさひ

令和3年6月22日（火）

文責：校長 田中 康隆

集団下校をしました

6月17日（木）、集団下校を実施しました。4・5月は、天候に恵まれず不完全な形での実施になりましたので、今年度はやっと通常の形で実施ができました。しかも、地域の老人会の方々や大村警察署からもこの日は見守っていただきました（今後もお願いしています）。

最初に、運動場に集合し、担当から「最近、みんなの交通マナーがよくないということ」「そのために危険な事案も発生しているということ」「福重の伝統を守り、上級生は下級生の手本となるよう振る舞ってほしいということ」等を話しました。それから、地区担当の職員がついて各地区に分かれて下校をしました。翌日、毎朝の交通指導をしてくださっている坂本さんからは、「福重の子は、よくあいさつをします」とお褒めの言葉をいただきました。一方で、課題も見つかりましたので、今後も指導していきたいと思います。

子供たちの下校については、見守りが少ないのが現状です。私自身も時間を見つけては、通学路を中心に地域へ出るように心がけています。下校の時間帯にお時間のある時は、玄関先にちょっと出て、本校の子供たちと一緒に見守ってくださるとありがたいと思っています。

箸の使い方について学習しました



6月15日（火）、竹松小学校栄養教諭の山本先生に来ていただき、箸の使い方について教えていただきました。写真にあるような道具（ボール紙に穴を開けたもの）を使って、子供たちは「下の箸を動かさず、上の箸だけを動かす」ように、一生懸命に練習をしていました。指が疲れたと漏らす子供もいましたが、粘り強くがんばりました。中学生でももう一度学習する機会があります。そのときは、豆つかみなどにも挑戦するそうです。

子供たちがそれまでにどれくらい上手になっているか楽しみです。

